

Canon

Zoom Lens

CN7x17

取扱説明書「レンズ」

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

－ はじめに －

このたびはキャノンズームレンズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本製品の取扱説明書は以下の内容で構成され、下記の製品モデルに適用されます。

- 取扱説明書「はじめにお読みください」（製品同梱）
- 取扱説明書「規制」（製品同梱）
- 取扱説明書「レンズ」（Web）
- 取扱説明書「情報ディスプレイ」（Web）
- 被写界深度表（Web）

型名	マウント
CN7x17 KAS T/R1	RF
CN7x17 KAS T/P1	PL

ご確認ください

本製品は動画撮影用ズームレンズです。

装着するカメラや使用する機能によっては、動作や表示が適正でない場合があります。

また、カメラ設定初期化中はレンズ操作を行わないでください。

本製品に関するその他の最新情報については、ホームページにてご確認ください。

本製品のファームウェアは常に最新のバージョンにしてお使いください。

ファームウェアの配信開始以降は、サポートページから最新バージョンのファームウェアをダウンロードすることができます。

RFマウント製品： アップデート用のファイルが保存されたSDカードをカメラに差し込み、カメラのメニューからファームウェアを更新することができます。

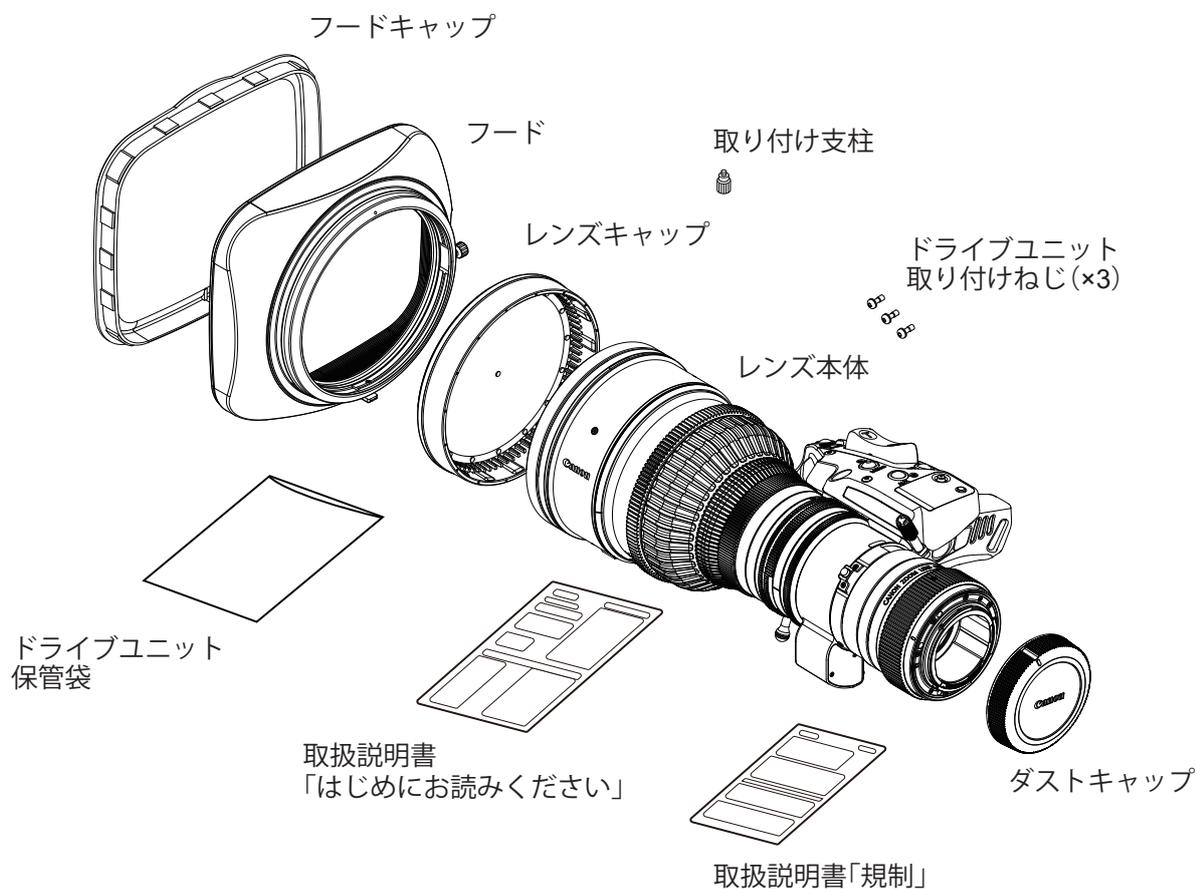
PLマウント製品： アップデート用のファイルが保存されたUSBデバイス(USBメモリー)をドライブユニットのUSBコネクタに差し込み、ドライブユニットのディスプレイからファームウェアを更新することができます。

ファームウェアの最新バージョンの有無やアップデートの方法については、以下のホームページにてご確認ください。

<https://cam.start.canon/>

商品構成

ご使用を始める前に以下のものがすべてそろっていることをご確認ください。不足品がある場合は、お求めになった代理店または販売店までご連絡ください。



仕様により、上記付属品以外のアクセサリが必要になる場合があります。詳細は、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。

この取扱説明書では、特に記載のない限り CN7x17 KAS T/R1 のイラストを使用します。

製品の形状は機種および仕様により一部異なります。

安全にお使いいただくために

製品および取扱説明書に記載されている安全に関する警告や注意事項は、必ず守ってください。これら危険防止の警告や注意事項にそった取り扱いをしない場合、けがや事故に至る可能性があります。この取扱説明書をよく読んで、十分に理解した上で本製品を正しくご使用ください。また、この取扱説明書は必要に応じてご覧になれるよう大切に保管してください。

この取扱説明書の中では、お客様および他の人々の安全をお守りし、事故を未然に防止するための警告文や注意文に以下のシンボルマークと言葉を使用しています。

 警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れがある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
 注意	取り扱いを誤った場合に、負傷または物的損害を負う恐れがある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
『ご注意ください』	操作する上での注意事項、または推奨事項です。ここに記載されていることを守らないと、製品が正しく機能しない可能性があります。また、操作上における有益な情報も記載されています。

取り扱いについて

警告

1. 水をかけたり、濡らしたりしないでください。万一、内部に水が入った場合は使用を中止してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。
2. レンズで太陽や輝度の高い光源をのぞかないでください。目に障害を起こす原因となることがあります。
3. ケーブルを抜くときは、必ずコネクタ部を持って抜いてください。ケーブル部を引っ張ると、断線などレンズケーブルが傷つき、その部分から漏電して火災や感電の原因となることがあります。

注意

1. 本製品を持ち運ぶときは、落下させないようにご注意ください。落下させますと、けがの原因となることがあります。
2. 取り付け部は、しっかりと締め付けてください。取り付け部が緩むと、落下してけがの原因となることがあります。
3. 定期的（目安として6か月～1年ごと）に取り付け部に緩みがないか点検してください。取り付け部が緩むと、落下してけがの原因となることがあります。
4. 製品を炎天下で使用すると、製品の内部が思わぬ高温になる場合があります。高温になる状況が想定される場合は、お客様にて適宜温度対策をお願いいたします。

『ご注意ください』

1. 本製品に強い衝撃を与えると故障の原因となることがあります。
2. 本製品は、防滴構造にはなっておりません。雨・雪など、水滴に直接さらして使用しないでください。故障の原因となることがあります。
3. 粉塵の多い場所での使用、またはレンズの着脱には十分ご注意ください。製品内に粉塵が入ると、故障の原因となることがあります。
4. 急激な温度変化を与えますと、レンズの内部が曇ってしばらくの間使用できなくなることがあります。曇り対策処置など十分にご配慮ください。
5. 化学薬品を使用するなど特殊な環境のもとでレンズを使用される場合には、あらかじめご相談ください。特殊な環境下で使用すると故障の原因となることがあります。

異常時の対処方法について

警告

万一下記のような異常が発生した場合には、ただちにレンズをカメラから取り外して、お求めになった代理店または販売店までご連絡ください。

- ・発煙、異臭、異常音などが発生した場合
- ・異物(金属や液体など)が製品内部に入ってしまった場合

保守・点検について



警告

本製品の外装を清掃するときは、必ずケーブルを抜き、レンズやカメラから取り外してから行ってください。また、ベンジン・シンナーなど引火しやすいものは、使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

『ご注意ください』

1. レンズの表面についたゴミやほこりは、ブローアーで吹き飛ばすか、柔らかい刷毛で軽く払ってください。指紋やシミが付いた場合は、市販のレンズクリーナーを少量浸した清浄な柔らかい綿布またはレンズクリーニングペーパー（シルボン紙など）で軽くふき取ってください。中心から渦を巻きながら周辺に向かってふき上げます。ゴミなどが付着したまま強くこするとレンズ表面に傷がつくことがありますのでご注意ください。
2. 使用条件・頻度・環境などにより異なりますが、毎年一回程度は保守点検を実施し、必要な場合にはオーバーホールなどを行ってください。

保管について



警告

使用しないときは、必ずレンズに付属のキャップやカバーを付けてください。キャップやカバーなどを付けない状態で直射日光に当たるとレンズの集光作用により火災の原因となることがあります。

『ご注意ください』

1. 霧や小雨などで湿気を含んだ場合には、速やかに乾いた布で水分をふき取り、乾燥剤（できるだけ新しい乾燥剤を使用）とともに、ビニール袋に入れて密封し、完全に内部の湿気を除去してください。カビや故障の原因となることがあります。
2. 別手配のキャリングケースをご使用になる場合は、お求めになった代理店または直接キヤノン(株)へ必ずご相談ください。ケースに使われる接着剤等の成分が、製品に悪影響を与える可能性があります。

お客様へ

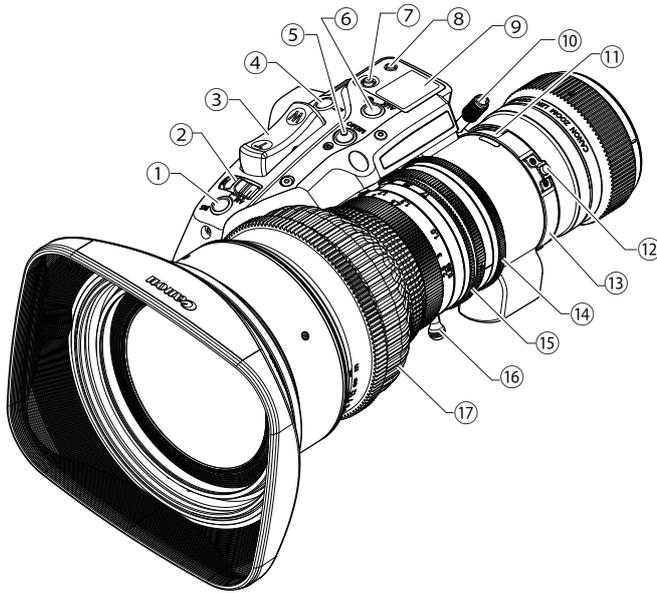
1. お客様の誤った操作に起因する障害については、当社は、責任を負いかねますのでご了承ください。
2. 本製品の品質・機能および取扱説明書に関して、お客様の使用目的に対する適合性・市場性などについては、一切の保証をいたしかねます。また、そこから生じる直接的・間接的損害に対しても責任を負いかねます。
3. 本製品の仕様・商品構成・外観図などは、お断りなく変更することがあります。
4. 修理や保守点検、本取扱説明書に記載されていない諸調整などについては、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。
5. お客様のご都合で、当社に相談なく改造が行われた製品に対しては、その修理などをお引き受けできない場合がありますのでご注意ください。

この取扱説明書の著作権はキヤノン株式会社にあります。

この取扱説明書の一部または全部をキヤノン株式会社の承諾書なしに、複写・複製または転記することは禁止されています。

1 各部の名称		7
2 取り付け・接続	<ul style="list-style-type: none"> 2-1. カメラへ取り付ける 2-2. フードを取り付ける 2-3. 電源を投入する 2-4. 各種アクセサリを取り付ける 2-5. アクセサリの取り付け寸法 	8
3 調整	<ul style="list-style-type: none"> 3-1. フランジバックを調整する 3-2. オートアイリスゲインを調整する 	12
4 設定	<ul style="list-style-type: none"> 4-1. Top 画面／ Sub 画面 4-2. ユーザー設定 4-3. オートアイリスゲインの調整 4-4. 各種スイッチへの機能割り付け 	13
5 操作・撮影	<ul style="list-style-type: none"> 5-1. ズーム操作 5-2. フォーカス操作 5-3. アイリス操作 5-4. マクロ操作 	18
6 USB コネクター	<ul style="list-style-type: none"> 6-1. USB コネクターの利用 6-2. USB デバイス（USB メモリー）仕様 6-3. USB ホスト（PC）仕様 	27
7 ドライブユニット脱着方法	<ul style="list-style-type: none"> 7-1. ドライブユニット取り外し方法 7-2. ドライブユニット取り付け方法 7-3. メカ端の自動調整 	29
8 製品仕様		34
付録	外観図	巻末

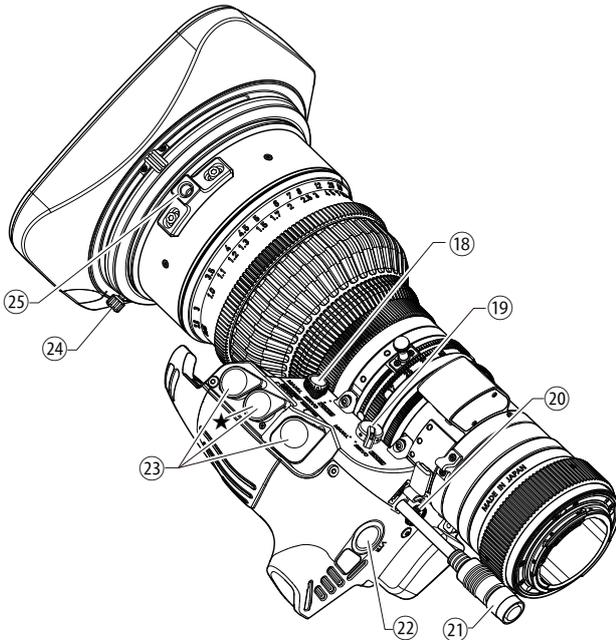
1 各部の名称



- ① アイリス瞬時オートスイッチ
- ② アイリスA/Mスイッチ
- ③ ズームシーソースイッチ
- ④ RETスイッチ
- ⑤ MEMOスイッチ
- ⑥ AUXスイッチ
- ⑦ ディスプレイ操作キー
- ⑧ ディスプレイスイッチ
- ⑨ ディスプレイ
- ⑩ F.B.ロックねじ
- ⑪ F.B.調整リング
- ⑫ マクロボタン
- ⑬ マクロリング
- ⑭ アイリスリング
- ⑮ ズームリング
- ⑯ ズームレバー
- ⑰ フォーカスリング
- ⑱ フォーカスサーボ/マニュアル切り換えノブ
- ⑲ ズームサーボ/マニュアル切り換えノブ
- ⑳ 最高ズームスピード調整ボリューム
- ㉑ 電源/アイリスコントロールケーブル
- ㉒ VTRスイッチ
- ㉓ リモートコネクター(20ピン)

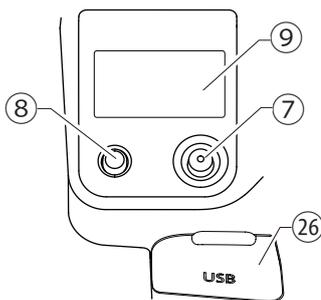
注)ただしアイリスリモートとバーチャル出力は★印のコネクターのみ有効

ズーム、フォーカスコントロール用アクセサリ(20ピン)を接続します。また、★印のコネクターはフォーカスコントロール用アクセサリと専用ケーブルを介してアイリスを操作する機能と各種バーチャルシステムのインターフェース機能も備えており、ズーム、フォーカス、アイリスの各位置信号を出力可能です。



- ㉔ フードロックノブ
- ㉕ 支持支柱

情報ディスプレイ部



⑦ ディスプレイ操作キー

カーソルを上下左右(⬆️⬇️⬇️⬆️)へ動かします。中央部分(Ⓢ)を押して確定します。

⑧ ディスプレイスイッチ

ディスプレイの表示をON/OFFします。

⑨ ディスプレイ

操作しない状態が2分以上続くと表示が消えます。

㉔ USB コネクター(保護カバー内)

USBデバイス(USBメモリー)を接続することで、レンズ設定データのエキスポートやインポートが可能です。また、レンズ管理情報などを記録したログや、レンズ作動履歴などを記録したサービスログをエキスポートすることも可能です。PLマウント製品の場合は、アップデートファイルが入ったUSBデバイス(USBメモリー)を接続して、レンズに構成されるファームウェアを更新することが可能です。

詳細は、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

2 取り付け・接続

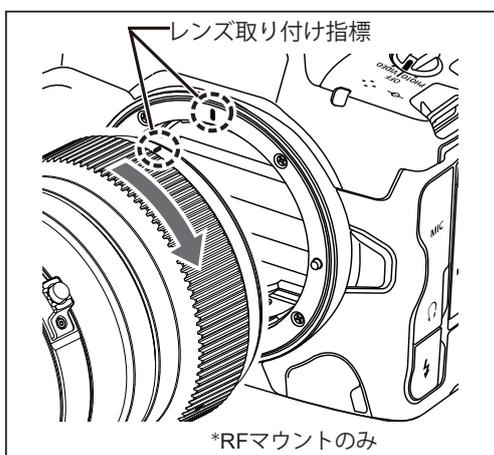
2-1. カメラへ取り付け

『PL マウントの場合は、取り付け前にお読みください』

1. PL マウントは、Cooke 社の通信規格「i Technology」に対応していますので、カメラ側の設定が「i」に設定されていることを確認してください。
2. カメラ側が、「i」とは異なるマウント通信モードになっている場合は、本レンズを接続しないでください。故障の原因となることがあります。

『ご注意ください』

1. レンズの取り付け、取り外しを行うときは、カメラや電源供給機材の電源を OFF にしてください。
2. マウントによって取り付け方が異なりますので、レンズの取り付け方法についての詳細は、カメラの取扱説明書をご覧ください。



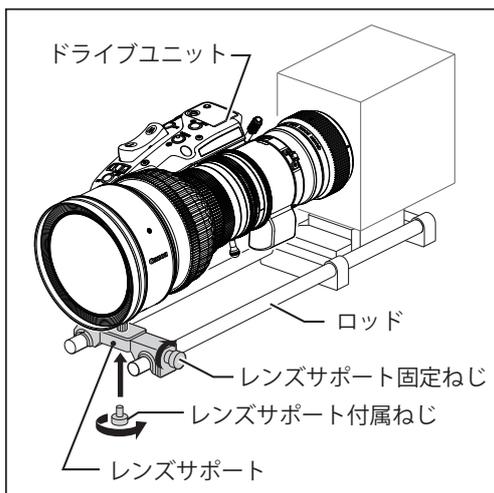
- 1 レンズをカメラのレンズマウントにしっかり密着させて取り付けます。

*RF マウントのみ

レンズ側とカメラ側のレンズ取り付け指標を合わせ、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回します。

『ご注意ください』

レンズ取り付けの際に、ロッド部がレンズ本体やドライブユニットに干渉する場合は、ロッドを取り外してからレンズを取り付けてください。



- 2 レンズサポートに付属のねじを使い、レンズの支持支柱をレンズサポートに固定します。

『ご注意ください』

φ 19 のロッドを使用する際は、あらかじめ付属の取り付け支柱を支持支柱に取り付けてください。

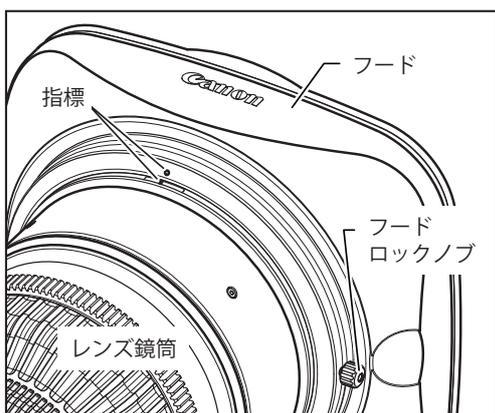
- 3 レンズサポートをレンズサポート固定ねじでロッドに固定します。
- 4 レンズの取り付けが完了したら、電源／アイリスコントロールケーブルをカメラか外部電源などの電源供給機材に接続します。

『ご注意ください』

1. カメラからレンズを取り外す前に、レンズキャップを取り付けてください。
2. レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
3. ドライブユニット定格電圧：DC12V
ドライブユニット入力電圧範囲：DC10V～17V
バッテリーやアダプターをご使用の際は、各メーカーにより定格電圧が高めに出力されている場合がありますので、上記電圧範囲でご使用ください。入力電圧範囲外の電圧で使用された場合、ドライブユニットの故障の原因となることがあります。また、ドライブユニット電源入力には極性があります。バッテリーやアダプターをドライブユニットに接続する際は、電源ケーブルの極性を必ずご確認ください。誤った極性で接続すると故障の原因となることがあります。

2-2. フードを取り付ける

出荷時は、レンズキャップが取り付けられています。最初にレンズキャップを取り外します。



- 1 フードをレンズに取り付けます。
- 2 フードとレンズ鏡筒に付いているそれぞれの指標を合わせます。
- 3 フードロックノブを締めます。

2-3. 電源を投入する

カメラや電源供給機材をON状態にします。レンズに電源が供給されます。

2-4. 各種アクセサリーを取り付ける

ロッド径φ 15、φ 19のシネマ用アダプターを使用し、各種アクセサリーをお使いいただくことができます。(φ 19のロッドを使用する際は、付属の取り付け支柱を支持支柱に取り付けてください。)

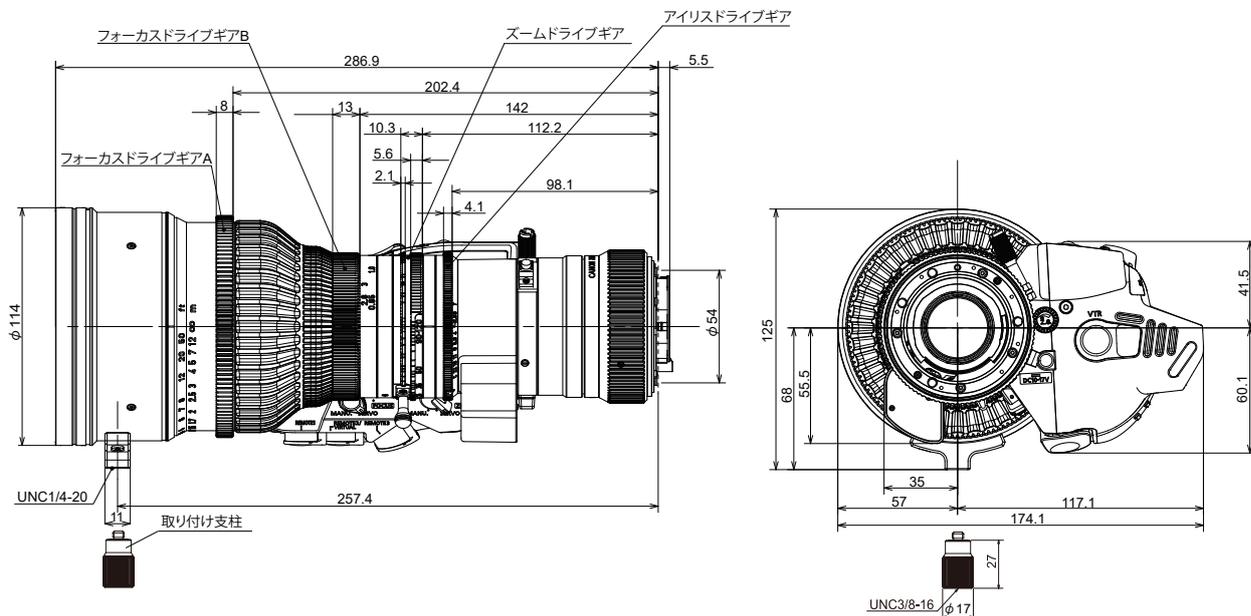
『ご注意ください』

1. レンズを装着する際は、必ず支持支柱をご使用ください。レンズサポートにレンズを装着する際、レンズのマウントに無理な力がかからないようご注意ください。
2. フィルターの取り付けについて
フードには 127mm フィルターを装着することができます。
レンズ本体にフィルターを取り付ける際は、キヤノン製クリアフィルター CL/112mm (以下 CL/112mm) をご使用ください。
CL/112mm をご使用の場合は、フードの 127mm フィルターと同時装着ができます。
市販の 112mm フィルターをご使用になると、フードと干渉してフードを正しく取り付けられないことがあります。

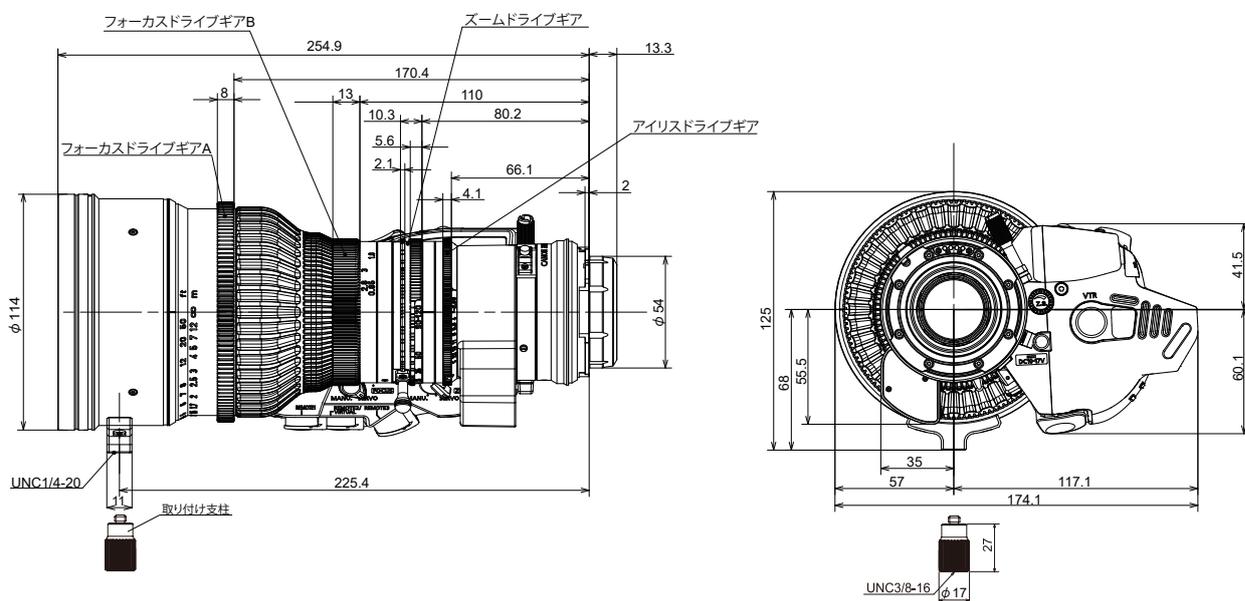
2-5. アクセサリーの取り付け寸法

(Unit : mm)

CN7x17 KAS T/R1 (RF マウント)



CN7x17 KAS T/P1 (PL マウント)



ギア仕様

	フォーカスドライブギア A	フォーカスドライブギア B	ズームドライブギア	アイリスドライブギア
歯数	131	140	140	175
モジュール	0.8	0.5	0.5	0.4
P.C.D.	104.8 mm	70 mm	70 mm	70 mm
操作角	180°	180°	93.5°	52.5°

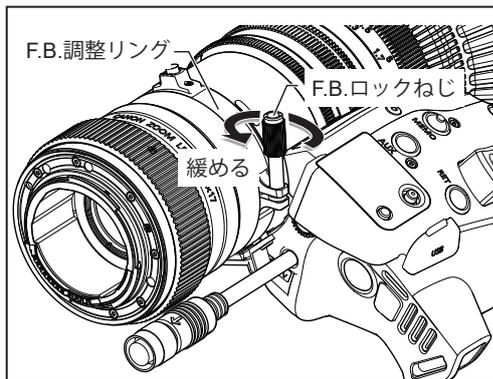
3 調整

3-1. フランジバックを調整する

ズームレンズの結像面とカメラの撮像面が合致していないと、ズーム操作を行ったときフォーカスが合わなくなりピンボケになります。下記の手順でレンズのフランジバックを調整します。

『ご注意ください』

フランジバックを調整する際は、被写体のボケ具合を見ながら F.B. 調整リングをゆっくり回して下さい。焦点（ピント）の合う範囲を大きく超えて F.B. 調整リングを動かすと、F.B. ロックねじがドライブユニットに接触し表面に傷がつく可能性があります。



- 1 適当と思われる距離（約 1.5 - 3m）に被写体を定めます。コントラストのはっきりしたものを被写体として利用すると作業がしやすくなります。
- 2 アイリス操作でレンズの絞りを開放（オープン）にします。
- 3 レンズのズームを望遠端（テレ）いっぱいにします。
- 4 フォーカス操作で焦点（ピント）を合わせます。
- 5 レンズのズームを広角端（ワイド）いっぱいにします。
- 6 レンズの F.B. ロックねじを緩め、F.B. 調整リングを回して焦点（ピント）を合わせます。
- 7 3 から 6 の操作を 2、3 回繰り返して、ズーム両端での焦点（ピント）を合わせます。
- 8 F.B. ロックねじを締めます。

3-2. オートアイリスゲインを調整する

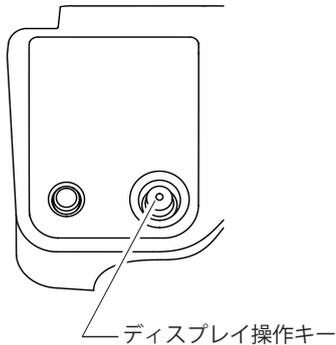
オートアイリスゲインはディスプレイを使い調整します。出荷時に適正に調整されていますが、調整値を変更する場合は再調整を行います。アイリスゲインの調整手順については、本取扱説明書『4-3. オートアイリスゲインの調整』および取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

『ご注意ください』

アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う場合は、カメラのアイリスモードをオートアイリス状態に設定してください。カメラの設定方法についてはカメラの取扱説明書をご覧ください。

4 設定

本製品は情報ディスプレイを使用して、レンズの各種設定を行うことができます。

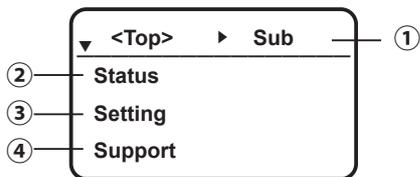


設定を行う場合には、情報ディスプレイのディスプレイ操作キーを上下左右(⏪ ⏩ ⏴ ⏵)へ倒して動かします。中央部分(Ⓢ)を押して確定します。

4-1. Top画面 / Sub画面

ディスプレイスイッチを押したときに最初に表示される画面がTop画面です。Top画面からレンズの各種設定や設定状況の確認を行う画面へ遷移することができます。またTop画面の1行目にカーソルがある状態でディスプレイ操作キーの右キー(⏵)を倒し、Subの表示位置へカーソルを移動させるとSub画面に遷移します。

Top画面



① Sub Sub画面

13種類の設定メニューを表示します。

② Status Status画面

レンズの状態表示メニューです。
(設定はできません)

③ Setting Setting画面

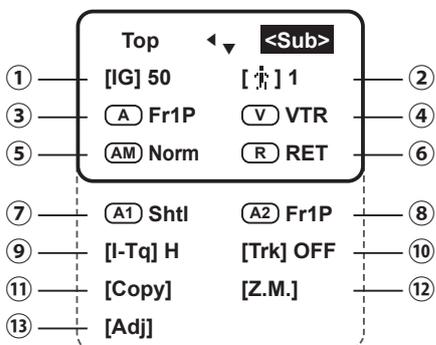
レンズの設定メニューです。

④ Support Support画面

レンズのサポート情報表示メニューです。

Sub画面では、下記の①から⑬までの設定や調整が可能です。

Sub画面



① [IG] オートアイリスゲインの設定

② [A] ユーザーの切り換え

③ [A] AUXスイッチへの機能割り付け

④ [V] VTRスイッチへの機能割り付け

⑤ [AM] アイリス A/M スwitchの動作設定

⑥ [R] RET スwitchへの機能割り付け

⑦ [A1] AUX1 スwitchへの機能割り付け

⑧ [A2] AUX2 スwitchへの機能割り付け

⑨ [I-Tq] アイリストールクの設定

⑩ [Trk] ズームトラックの ON/OFF 切り換え

⑪ [Copy] ユーザー設定のコピー

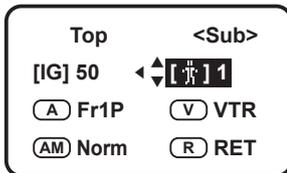
⑫ [Z.M.] ズームシーソースSwitchのカーブ特性設定

⑬ [Adj] メカ端の自動調整

4-2. ユーザー設定

ユーザーごとに各種スイッチへの機能割り付けが行えます。使用するユーザーに切り換えた後、各種スイッチへの機能割り付けを行ってください。

Sub 画面



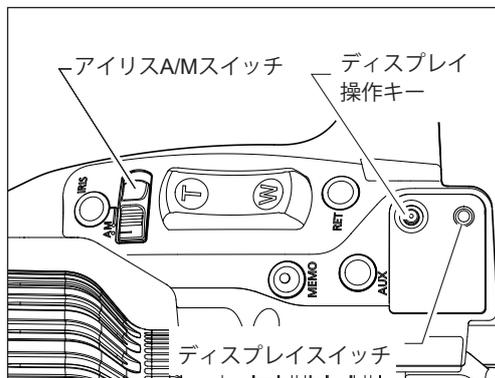
[*] ユーザーの切り換え

Sub画面でユーザーの切り換えができます。左図はユーザーが1であることを示しています。ユーザーには、TEMP/1/2/3/Lockが表示されます。ユーザー1、2、3の状態では、設定を保存することができます。TEMP状態では設定を保存することはできません。Lock状態では、ユーザーの切り換えやデータの設定が制限されます。ユーザーを変更するためにはLock状態を解除する必要があります。Lock状態の解除や設定については取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

[*] 選択項目	ユーザー				ロック状態
	TEMP	1	2	3	Lock
機能	一時的に 設定変更可能	設定の 保存可能	設定の 保存可能	設定の 保存可能	ユーザーの 切り換え不可

4-3. オートアイリスゲインの調整

オートアイリスゲインは、出荷時に適正に調整されていますが、調整値を変更する場合は、以下の手順でアイリスの動作を確認しながらゲインを調整します。設定したオートアイリスゲインは全てのユーザーで共通に使用しません。

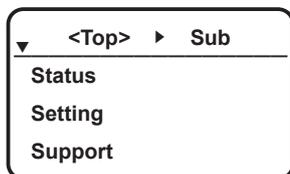


- 1 ドライブユニットのアイリス A/M スイッチを“A”（オート）側にします。

『ご注意ください』

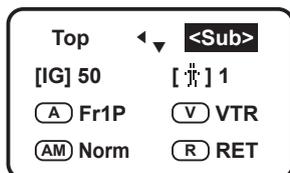
アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う場合は、カメラのアイリスモードをオートアイリス状態に設定してください。カメラの設定方法についてはカメラの取扱説明書をご覧ください。

Top 画面



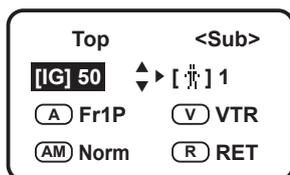
- 2 ディスプレイスイッチを押してディスプレイを点灯させます。Top 画面が表示されます。

Sub 画面



- 3 ディスプレイ操作キーの右キー (⏪) を 1 回倒します。カーソルが Sub の表示位置へ移動し、Sub 画面が表示されます。

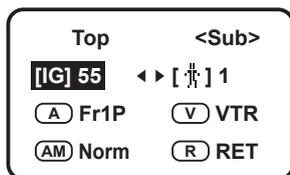
Sub 画面



- 4 ディスプレイ操作キーの下キー (⏴) を 1 回、次に左キー (⏩) を 1 回倒します。カーソルは [IG] の表示位置へ移動します。この位置でディスプレイ操作キーの中央 (Set) を押します。カーソルは [IG] の位置で点滅します。

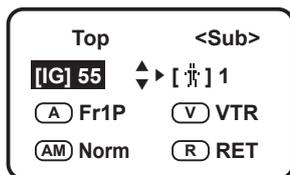
『ご注意ください』
RFマウント製品のみ、RF通信制御でアイリスの操作元がカメラの場合、「--」が表示され機能は無効となります。

Sub 画面



- 5 ディスプレイ操作キーの右キー (⏪) あるいは左キー (⏩) でアイリスゲインを調整します。アイリスゲイン調整値は [IG] 表示の右側の数値で確認できます。左図はアイリスゲインの調整値を 55 に変更した場合です。レンズ本体のアイリスリングを見て、ハンチングが起こらない範囲で、ゲインが適正になるように調整してください。

Sub 画面

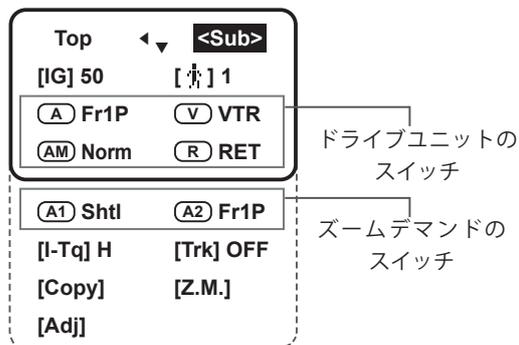


- 6 適正な値にできたら、ディスプレイ操作キーの中央 (Set) を押します。カーソルが点滅状態から点灯状態へ変化して、アイリスゲインの値が確定します。

4-4. 各種スイッチへの機能割り付け

ドライブユニットのスイッチやデマンドのスイッチへ機能の割り付けを行うことが可能です。あらかじめ割り付けを行うユーザーに切り換えた後、スイッチへ機能の割り付けを行ってください。

Sub 画面



Sub 画面の初期画面でドライブユニットの4つのスイッチへの機能割り付けが可能です。ディスプレイ操作キーを下方向 (⏴) に操作して画面をスクロールさせることで、点線で囲まれたデマンドの2つのスイッチへの機能割り付け、アイリトルクの設定、ズームトラックのON/OFF 切り換え、ユーザー設定のコピー、ズームシーソースイッチのカーブ特性設定、メカ端の自動調整が可能です。

(A) AUX スイッチ

ドライブユニットのAUXスイッチには出荷時『フレーミングプリセット1(設定速度)』機能が割り付けられていますが、表4-4-1の機能を割り付けることが可能です。

詳細は、取扱説明書「情報ディスプレイ」『2-3 AUXスイッチへの機能割り付け』をご覧ください。

(V) VTR スイッチ

ドライブユニットのVTRスイッチには出荷時『VTR』機能が割り付けられていますが、表4-4-1の機能を割り付けることが可能です。

詳細は、取扱説明書「情報ディスプレイ」『2-4 VTRスイッチへの機能割り付け』をご覧ください。

(AM) アイリス A/M スイッチ

ドライブユニットのアイリス A/M スイッチの動作を変更することができます。出荷時は『Norm (標準)』動作が割り付けられていますが、表4-4-2の動作を設定することが可能です。

詳細は、取扱説明書「情報ディスプレイ」『2-5 アイリス A/M スイッチの動作設定』をご覧ください。

(R) RET スイッチ

ドライブユニットのRETスイッチには出荷時『RET』機能が割り付けられていますが、表4-4-1の機能を割り付けることが可能です。

詳細は、取扱説明書「情報ディスプレイ」『2-6 RETスイッチへの機能割り付け』をご覧ください。

(A1) AUX1 スイッチ

ズームデマンド ZSD シリーズのAUX1スイッチには出荷時『シャトルショット』機能が割り付けられていますが、表4-4-1の機能を割り付けることが可能です。

詳細は、取扱説明書「情報ディスプレイ」『2-7 AUX1スイッチへの機能割り付け』をご覧ください。

(A2) AUX2 スイッチ

ズームデマンド ZSD シリーズのAUX2スイッチには出荷時『フレーミングプリセット1(設定速度)』機能が割り付けられていますが、表4-4-1の機能を割り付けることが可能です。

詳細は、取扱説明書「情報ディスプレイ」『2-8 AUX2スイッチへの機能割り付け』をご覧ください。

4-4-1. 各種スイッチへの機能割り付け一覧

選択項目	VTR	RET	RET2* ¹	RET3* ¹	RET4* ¹	RET5* ¹	RET6* ¹	RET7* ¹	RET8* ¹
機能	VTR	RET	RET2	RET3	RET4	RET5	RET6	RET7	RET8
選択項目	Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	Shtl	AF* ²	NON* ³	
機能	フレーミング プリセット1 (設定速度)	フレーミング プリセット1 (最高速度)	フレーミング プリセット2 (設定速度)	フレーミング プリセット2 (最高速度)	スピード プリセット	シャトル ショット	オート フォーカス	機能なし	

*1: 「4.Setting 4-15 RET2-8 機能の ON/OFF 切り換え」の設定を ON にすると、RET2-8 (RET2 / RET3 / RET4 / RET5 / RET6 / RET7 / RET8) が表示され選択できるようになります。

*2: RF マウント製品のみ「AF」が表示され選択できるようになります。

AF 機能は一部のカメラでのみ実現可能です。詳細は、カメラの取扱説明書をご覧ください。

*3: AUX、AUX1 および AUX2 スイッチに割り付け可能です。

4-4-2. アイリスA/Mスイッチの動作設定一覧

選択項目	Norm	Reve	Auto* ⁴	Manu* ⁴
機能	標準動作 A : Auto M : Manual	逆転動作 A : Manual M : Auto	オートのみ A : Auto M : Auto	マニュアルのみ A : Manual M : Manual

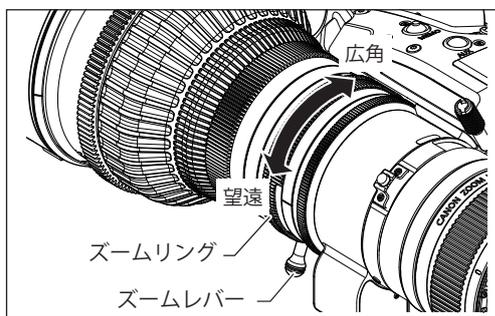
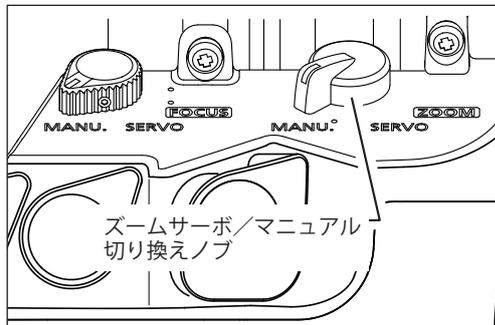
*4: 動作設定を Auto や Manu にすることで、アイリス A/M スイッチの位置によらず、アイリス動作を固定することができます。

詳細は、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

5 操作・撮影

5-1. ズーム操作

5-1-1. マニュアルズーム操作



- 1 ズームサーボ/マニュアル切り換えノブを MANU. 側にします。

『ご注意ください』

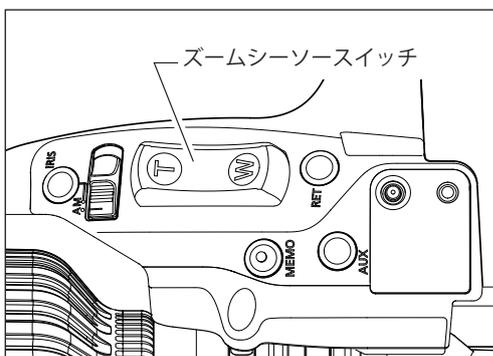
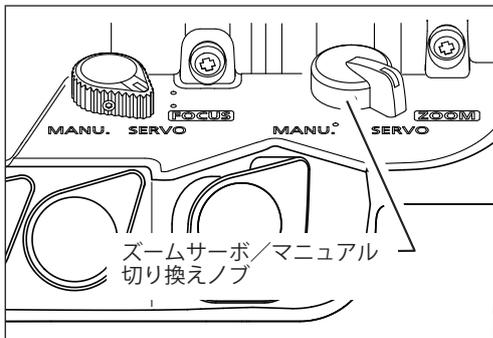
マニュアルズーム操作を行うときは、必ずズームサーボ/マニュアル切り換えノブをMANU.側にしてから行ってください。

SERVO側のまま強引にマニュアルズーム操作を行いますと、故障の原因となることがあります。

- 2 ズームリング（またはズームレバー）を回してズーム操作を行います。

5-1-2. サーボズーム操作

レンズに内蔵されているモーターを駆動させズーム操作を行うことができます。



- 1 ズームサーボ/マニュアル切り換えノブを SERVO 側にします。

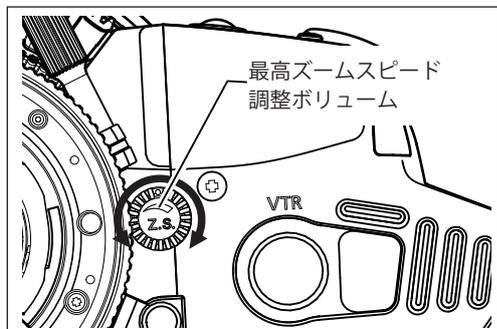
- 2 ズームシーソースイッチを押してズーム操作を行います。スイッチの押し込み具合によりズームスピードが変わります。深く押すほど、ズームスピードが速くなります。

『ご注意ください』

USB デバイス (USB メモリー) の読み出し、書き込みを行っている場合は、ズーム、フォーカス操作はマニュアル操作のみ可能です。

5-1-3. 最高ズームスピードを調整する

ズームシーソースイッチを最も深く押したときの最高ズームスピードは、最高ズームスピード調整ボリュームで調整できます。



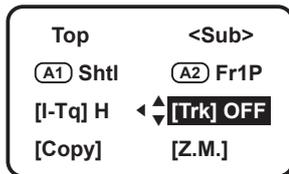
- 1 最高ズームスピード調整ボリュームを時計方向に回すと最高ズームスピードは高速になり、反時計方向に回すと最高ズームスピードは低速に変化します。

情報ディスプレイでの設定も可能です。詳細は、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

5-1-4. ズームトラック機能(サーボのみ)

ズームコントロール域(ズームトラック)を任意のズーム範囲で規制し、望遠端(テレ端)および広角端(ワイド端)を仮想的に設定することができます。ズームトラック機能を使用する場合、あらかじめ機能を ON にしておく必要があります。

A: ディスプレイ上で ON/OFF を切り換える



- 1 ディスプレイスイッチを押して、ディスプレイを点灯させます。
- 2 ディスプレイ操作キーを操作し [Trk] にカーソルを移動し、ディスプレイ操作キーの中央 (Set) を押します。[Trk] と現状の設定が点滅表示になります。
- 3 ディスプレイ操作キーの右キー (R) または左キー (L) を操作し、設定を ON または OFF に切り換えます。
- 4 ディスプレイ操作キーの中央 (Set) を押して、確定します。

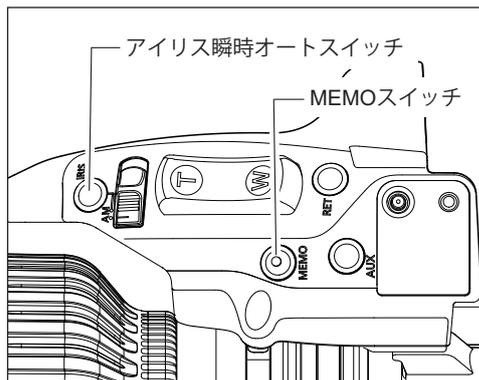
設定についての詳細は、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

B: スイッチ操作で ON/OFF を切り換える

	切り換え操作	動作	お知らせ方法
ONにする	MEMOスイッチとアイリス瞬時オートスイッチを同時に	前回固定したズーム範囲に固定される(前回設定していない場合はメカ端点)	現在のズーム位置から近い方の設定位置に自動的にズーミングする
OFFにする	3秒間以上押し続ける	ズーム範囲がメカ端点になる	現在のズーム位置から近い方のメカ端点位置に自動的にズーミングする

ズームトラック位置を設定する

ズームトラックの位置設定をする前に、あらかじめズームトラック機能を ON にします。



- 1 設定するズームトラック位置にズーミングします。
- 2 ズーム位置を保持したまま、MEMOスイッチを押しながらアイリス瞬時オートスイッチを押します。望遠側であれば望遠端、広角側であれば広角端のズームトラック位置として記憶されます。
- 3 望遠側、広角側それぞれに1から2項の操作で設定を行います。どちらか一方の設定も可能です。再設定する場合は、1から3項の操作を行います。(あとから設定した位置に記憶が書き替えられます。)

『ご注意ください』

1. ズームトラック位置を再設定する場合、サーボズーム操作では、ズーム位置を設定端点よりメカ端点側に移動できません。このような場合、ズームトラック機能を一度 OFF にして、下記のいずれかを行ってください。
 - ・ズームシーソースイッチ操作で設定のズーミングを行う。
 - ・手で操作する。
2. ズームトラック位置は最大2か所(望遠側、広角側)まで設定することが可能ですが、レンズのズーム域の中間からどちらか片側に片寄って、2か所設定することはできません。(この場合、あとから設定した位置が望遠側あるいは広角側のズームトラック位置として記憶されます。)

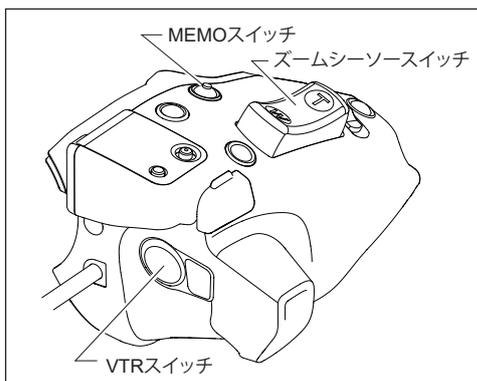
5-1-5. シャトルショット（サーボのみ）

シャトルショットとは、現在のズームポジションとあらかじめ登録しておいたズームポジションを最高速度で切り換える機能です。



シャトルショット機能を使用するには、シャトル機能をドライブユニットのVTR、RET、AUXスイッチ、もしくはズームデマンドのAUX1、AUX2スイッチに割り付ける必要があります。本取扱説明書では、VTRスイッチにシャトルショット（Shtl）機能を割り付けた場合で説明します。

シャトルメモリーポジションを設定する



- 1 任意のポジションにズーミングし、そのポジションのまま、MEMOスイッチを押しながらVTRスイッチ（Shtl機能割り付け）を押します。

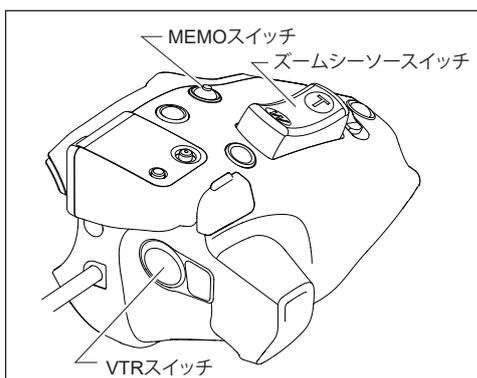
『ご注意ください』

1. 設定したシャトルメモリーポジションは後述のフレーミングプリセットで設定するポジションとは別のものです。また、このとき記憶させたポジションは電源OFF後も記憶されます。
2. Shtlスイッチによる操作を優先させているため、Shtl機能を割り付けたスイッチを押している間はズームシーソースイッチによる操作は行えません。

5-1-6. スピードプリセット（サーボのみ）

スピードプリセットとは、あらかじめ登録しておいたズームスピードを何度も再現できる機能です。ドライブユニットのVTR、RET、AUXスイッチ、もしくはズームデマンドのAUX1、AUX2スイッチのいずれかにスピードプリセット（Sped）機能を割り付けます。本取扱説明書では、VTRスイッチにスピードプリセット（Sped）機能を割り付けた場合で説明します。

ズームスピードおよびズーム方向を設定する

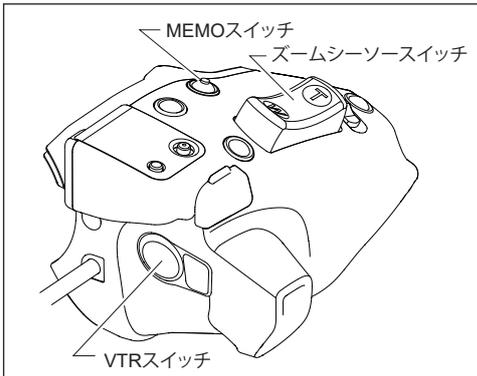


- 1 記憶させたいズームスピードとズーム方向（望遠側または広角側）にズームシーソースイッチを操作したままMEMOスイッチを押します。

『ご注意ください』

- 記憶されたズームスピードは、フレーミングプリセットに反映されます。

スピードプリセットの操作方法



- 1 VTR スイッチ (Sped 機能割り付け) を押すと、記憶したスピードと方向 (望遠側または広角側) に向かって移動し始め、ズーム端へ到達すると停止します。

スピードプリセットでの移動中の解除

スピードプリセットでの移動中、下記のいずれかの操作により移動が解除されます。

- 1) Sped 機能を割り付けたスイッチをもう一度押す。
- 2) ズームシーソースイッチあるいは / Shtl 機能 / Fr1P 機能 / Fr2P 機能 / Fr1F 機能 / Fr2F 機能を割り付けたスイッチのいずれかを操作する。

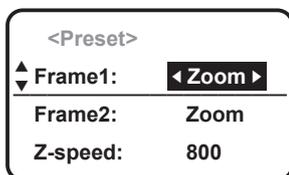
5-1-7. フレーミングプリセット (サーボのみ)

フレーミングプリセットには、以下の 3 種類の組み合わせがあります。

[Zoom] : あらかじめ決めた画角と移動スピード (ズームスピード) を容易に再現できます。

[Focus] : あらかじめ決めたピントを容易に再現できます。

[Z + F] : あらかじめ決めたピントと画角への移動スピード (フォーカススピード、ズームスピード) を容易に再現できます。



フレーミングプリセットの設定切り換えは、情報ディスプレイの Preset画面より行います。Frame1の設定をZoom、Focus、Z+Fのいずれかに切り換えます。

『ご注意ください』

フレーミングプリセットは、Frame1 および Frame2 の 2 か所まで設定できます。次ページ以降の説明では Frame1 のみ記載しています。また、Frame1 は Fr1P と表示します。

フレーミングメモリーポジションへの移動スピード選択

フレーミングポジションへの移動スピードの選択は Fr1P、Fr1F のスイッチ割り付けで行います。スイッチの割り付け方法については、「4-4.各種スイッチへの機能割り付け」あるいは取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

- Fr1P : 設定スピード (Preset Speed) (工場出荷時は AUX スイッチに割り付けられています)
- Fr1F : 最高スピード (Fast Speed)

フレーミングプリセット 制御対象	制御内容	移動スピードの設定	
		Fr1P、Fr2P (スピード設定可能)	Fr1F、Fr2F (最高スピード)
Zoom	ズーム動作制御	ズームが設定スピードで移動	ズームが最高スピードで移動
Focus	フォーカス動作制御	フォーカスが最高スピードで移動*1	フォーカスが最高スピードで移動
Z+F	ズーム+フォーカス 動作制御	ズームとフォーカスが 設定スピードで移動*2	ズームとフォーカスが 最高スピードで移動

*1:フォーカススピードは最高スピードで固定されています。

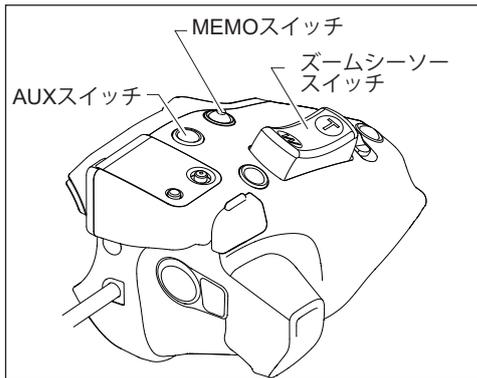
*2:ズームとフォーカスは、同時に始動し同時に停止するように制御されます。

フレーミングプリセット[ZOOM]／[Focus]／[Z+F]の設定

『ご注意ください』

本取扱説明書では AUX スイッチに Fr1P 機能を割り付けた場合について説明します。他のスイッチに機能を割り付けている場合、掲載のイラストと実際のスイッチ状態が異なりますのでご注意ください。

フレーミングメモリーポジションを設定する



- 1 任意のポジションにズーム（およびフォーカス）し、そのポジションのまま MEMO スイッチを押しながら AUX スイッチ（Fr1P 機能割り付け）を押します。

『ご注意ください』

設定したフレーミングメモリーポジションはシャトルショットで設定するポジションとは別に記憶します。また、このときに設定したポジションは電源 OFF 後も記憶されます。

フレーミングメモリーポジションへ移動する

AUX スイッチ（Fr1P 機能割り付け）を押すとフレーミングメモリーポジションへ選択したスピードで移動し始め、フレーミングメモリーポジションへ到達すると停止します。

フレーミングメモリーポジションへの移動を解除する、または切り換える

メモリーポジションへの移動中、下記のいずれかの操作により移動が解除されます。

ズームフレーミングプリセット動作の解除または切り換え方法

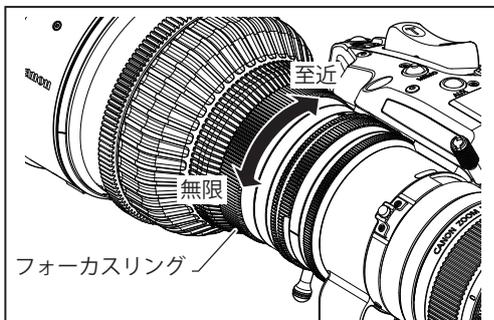
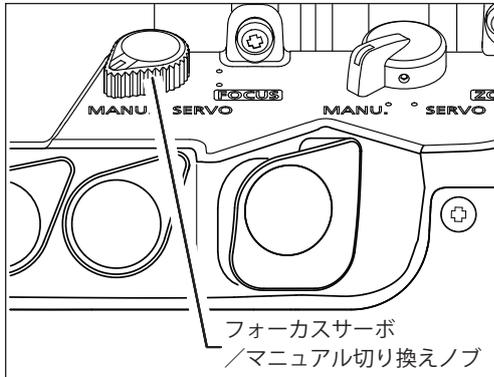
- Fr1P機能を割り付けたスイッチをもう一度押す。
- ズームシーソースイッチによる操作を行う。
- Shtl機能を割り付けたスイッチによる操作を行う。

フォーカスフレーミングプリセットおよびズーム＋フォーカスフレーミングプリセット動作の解除または切り換え方法

- 接続されたフォーカスデマンドを操作する。
(メモリーポジションへの移動は停止し、フォーカスデマンドの操作位置に移動します。)

5-2. フォーカス操作

5-2-1. マニュアルフォーカス操作



- 1 フォーカスサーボ/マニュアル切り換えノブを MANU. 側にします。

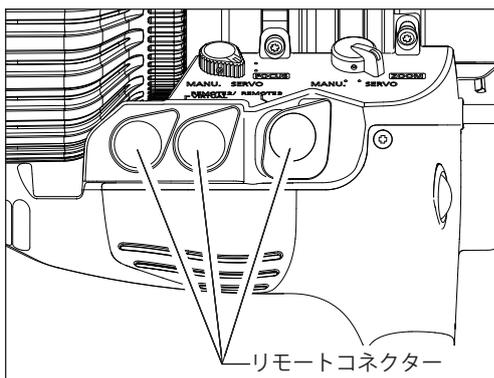
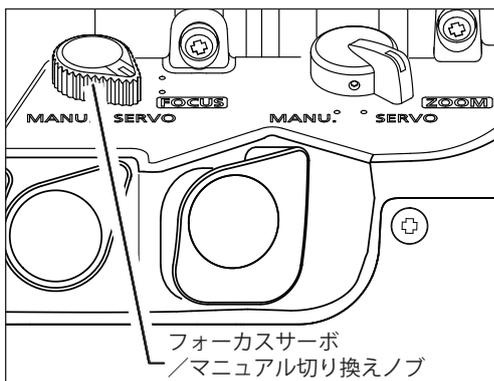
『ご注意ください』

マニュアルフォーカス操作を行うときは、必ずフォーカスサーボ/マニュアル切り換えノブをMANU.側にしてから行ってください。

SERVO 側のまま無理にフォーカスリングを回転させると、故障の原因となることがあります。

- 2 フォーカスリングを回転させて、至近側または無限側の被写体に焦点（ピント）を合わせます。

5-2-2. サーボフォーカス操作



- 1 フォーカスサーボ/マニュアル切り換えノブを SERVO 側にします。

- 2 フォーカスデマンドなどのアクセサリをリモートコネクターに接続します。操作方法についてはご使用になるアクセサリの取扱説明書をご覧ください。

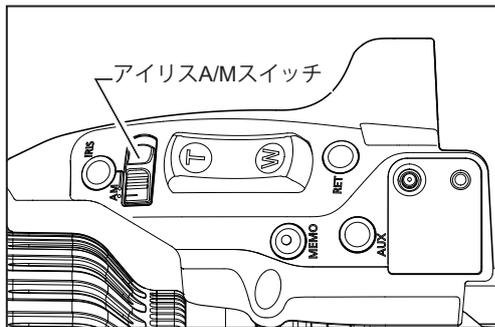
『ご注意ください』

USB デバイス (USB メモリー) の読み出し、書き込みを行っている場合は、ズーム、フォーカス操作はマニュアル操作のみ可能です。

5-3. アイリス操作

アイリスA/Mスイッチによりアイリスのオート/マニュアル操作を選択できます。アイリスA/Mスイッチの動作はディスプレイで設定できます。本取扱説明書ではアイリスA/Mスイッチを『Norm(標準)』動作に設定した場合について説明します。

5-3-1. オートアイリス操作

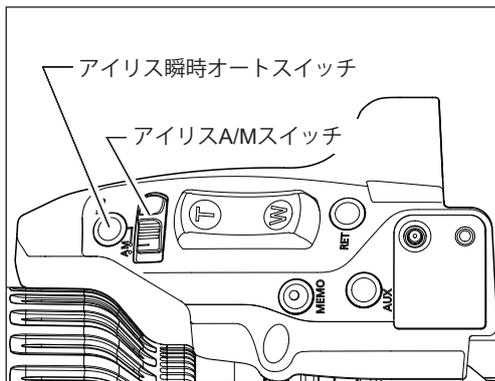


- 1 アイリス A/M スイッチを “A” (オート設定) 側にします。カメラからの指令信号によるオート (自動) アイリス操作になります。ビデオ信号レベルを常に一定に保ちます。

『ご注意ください』

1. カメラの種類によってはオートアイリス操作ができない場合があります。
2. ディスプレイでのオートアイリスゲインの調整や設定が可能です。詳細は、本取扱説明書『4-3. オートアイリスゲインの調整』および取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

5-3-2. マニュアルアイリス操作

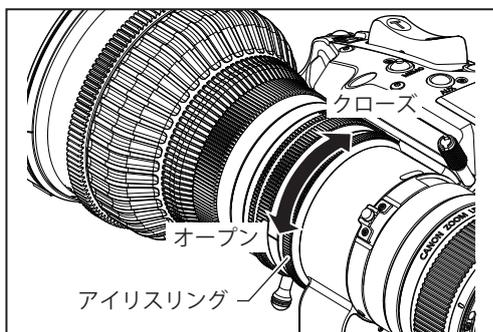


- 1 アイリス A/M スイッチを “M” (マニュアル設定) 側にします。

『ご注意ください』

マニュアルアイリス操作を行うときは、必ずアイリス A/M スイッチをマニュアル設定側にしてから行ってください。オート設定側のまま強引にマニュアルアイリス操作を行うと故障の原因となることがあります。

- 2 レンズ本体のアイリスリングを手動で回してアイリス操作を行います。



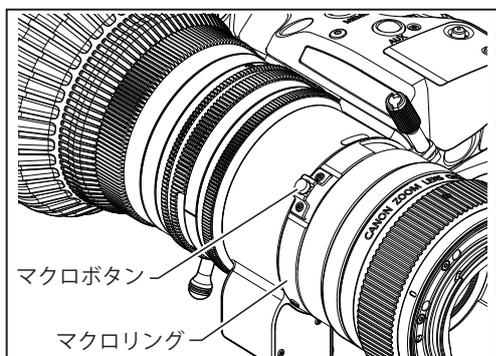
- 3 アイリスをマニュアル操作で撮影中に、アイリス瞬時オートスイッチを押すと、押している間だけオートアイリス状態になります。

『ご注意ください』

カメラの種類によってはオートアイリス操作ができない場合があります。

5-4. マクロ操作

小さな被写体を、至近撮影距離（M.O.D.）よりさらに近接して撮影したい場合に使用します。最短でレンズ先端から約 10cm まで近づいて接写できます。



- 1 マニュアルまたはサーボによりズームを広角（ワイド）端に移動します。
- 2 マクロボタンを押してロックを解除し、押したままの状態でもマクロリングを回転させ、ピントを合わせます。

『ご注意ください』

広角端以外でもマクロ操作は可能ですが、近接距離が長くなります。

多点フォーカス撮影について

マクロ撮影の状態からズーム操作で焦点距離を変えていくと、ピントの合う位置も変化していきます。この特性を利用して、ズーム操作だけで、同一カット内でピントの合う位置をずらしていく特殊技法が多点フォーカス撮影です。撮影の手順は次のとおりです。

- 1 遠方の被写体にズームアップし、通常のフォーカス操作でピントを合わせます。
- 2 ズームを広角（ワイド）側に引いて、近距離の被写体にマクロ操作でピントを合わせます。
- 3 マクロボタンを 2 の状態にしたまま、再度遠方の被写体にズームアップし、通常のフォーカス操作でピントを合わせます。

6 USB コネクター

6-1. USB コネクターの利用

6-1-1. USB コネクター仕様

ドライブユニットのUSBコネクターにUSBデバイス（USBメモリー）を接続することで以下の機能を使用することが可能です。接続するUSBデバイス（USBメモリー）についてはお客様が事前にご準備ください。

1. ファームウェアの更新 (PL マウント製品のみ *)

製品ファームウェアの更新をお客様で自身で実施いただくことが可能です。製品ファームウェアの配信開始以降は、以下のサポートページから最新バージョンをダウンロードすることができます。

*RF マウント製品のファームウェア更新は、SD カードを使用しカメラを経由して行います。詳細は、以下のサポートページをご覧ください。

<https://cam.start.canon/>

2. ユーザー設定のエクスポート / インポート

ユーザーごとに設定した内容を USB デバイス（USB メモリー）にエクスポート（書き出し）し、別の機材にインポート（読み込み）することで、異なる機材を同じ設定でご利用できます。

3. レンズ管理情報 / サービスログのエクスポート

ご使用レンズの型名、シリアル番号などの管理情報を記録したログやレンズの作動履歴などを記録したサービスログを USB デバイス（USB メモリー）にエクスポート（書き出し）できます。お客様の機材管理やサービス対応時にご利用ください。

詳細は、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

6-1-2. USB ホストとの接続

ドライブユニットの USB コネクターに USB ホスト (PC) を接続することで、以下の機能を使用することが可能です。接続する USB ホスト (PC) についてはお客様が事前にご準備ください。

1. レンズ管理情報の参照

レンズをUSBホスト(PC)と接続すると、USBホスト(PC)側では複数のテキストファイルが保存されたUSBデバイス(USBメモリー)として識別されます。テキストファイルには、ご使用レンズの型名、シリアル番号などの管理情報が含まれています。テキストファイルの情報は、お客様の機材管理やサービス対応時にご利用ください。各テキストファイルについての詳細は、保存されているreadme.txtに説明がございますので、ご確認ください。

6-1-3. USB コネクター仕様

ドライブユニットに設けた USB コネクターの仕様は以下の通りです。

端子形状：USB Type-C® [通信速度：Full-Speed (12Mbps)]

USB Type-C® および USB-C® は USB Implementers Forum の登録商標です。

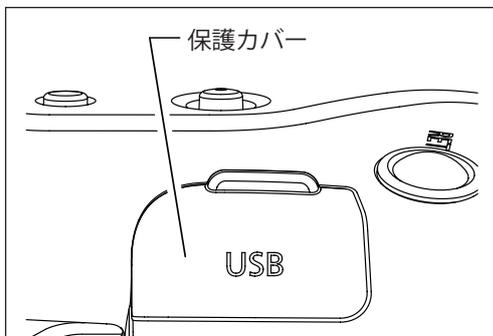
『ご注意ください』

USBデバイス（USBメモリー）の読み出し、書き込みを行っている場合は、ズーム、フォーカス操作はマニュアル操作のみ可能です。

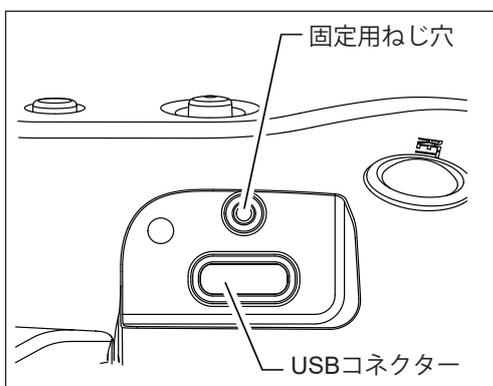
USBデバイス（USBメモリー）の読み出し、書き込みはズーム、フォーカスのサーボ操作を行っていない時に実施してください。

6-1-4. 接続ケーブルの抜け防止

USB Type-C® のシングルスクリューロックタイプ相当のケーブルを利用して、接続したケーブルの抜けを防止することができます。



1 保護カバーを開きます。



2 ご利用のケーブルを USB コネクターに接続します。

3 接続するケーブルのねじを固定用ねじ穴に入れて、ねじを締めます。

『ご注意ください』

USBコネクターをご使用にならない時には、ほこりや水などから接点を保護するため保護カバーを閉めてください。

6-2. USBデバイス (USBメモリー) 仕様

ドライブユニットの USB コネクターに接続する USB デバイス (USB メモリー) の仕様は以下の通りです。

端子形状：USB Type-C® [通信速度：Full-Speed (12Mbps)]

ファイルフォーマット：FAT16またはFAT32

容量：FAT32 フォーマット 32GB 推奨

USB Type-C® および USB-C® は USB Implementers Forum の登録商標です。

『ご注意ください』

USBコネクターに接続しても認識されないUSBデバイス (USBメモリー) がありますので、ご利用の前にご確認ください。

6-3. USBホスト (PC)仕様

ドライブユニットの USB コネクターに接続する USB ホスト (PC) の仕様は以下の通りです。

USBデバイスクラス：USBマスマストレージクラスに対応すること。

ファイルフォーマット：FAT16を読み取り可能なこと。

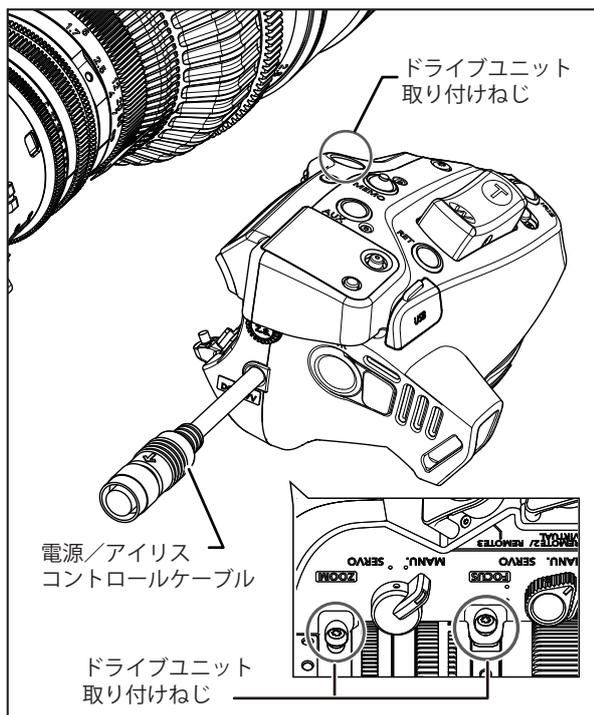
7 ドライブユニット脱着方法

本製品はドライブユニットとレンズ本体を分離できる構造になっています。マニュアルレンズとして使用する場合は 7-1. 項を参照してドライブユニットを取り外してください。またドライブユニットを再装着する場合は 7-2. 項を参照して取り付けてください。

7-1. ドライブユニット取り外し方法

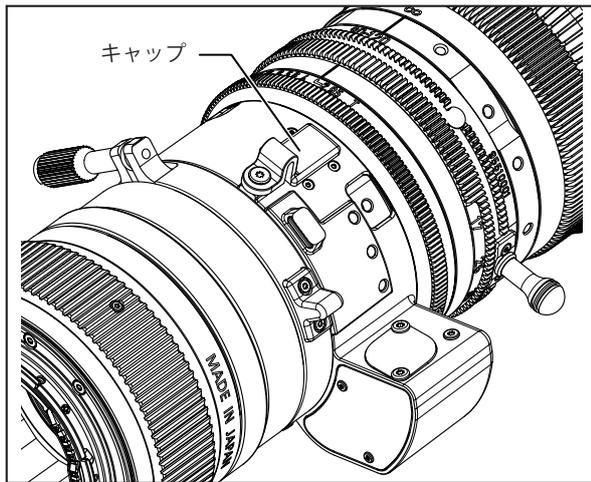
『ご注意ください』

- ドライブユニット取り付けねじを外すときは、ドライブユニットに傷を付けないようご注意ください。
- ドライブユニット取り付けねじには軸径 4mm 以下のプラスドライバーをご使用ください。
- レンズを傾けると、ズームリングが回転し、ズーム位置が変わる場合があります。傾けた状態でズーム位置を保持するときは、トルク調整可能なピッチ 0.5 のシネマ用操作アクセサリーをズームリングに取り付けてご使用ください。
- ドライブユニットを外した状態ではアイリスリングが回転し、アイリス位置が変わる場合があります。アイリス位置を保持するときは、トルク調整可能なピッチ 0.4 のシネマ用操作アクセサリーをアイリスリングに取り付けてご使用ください。ピッチ 0.4 の操作アクセサリーについては、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。

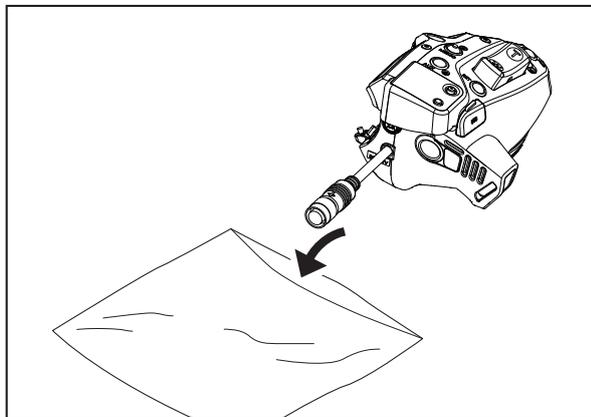


- 1 カメラとレンズの電源を OFF にします。
- 2 電源/アイリスコントロールケーブルを外します。
- 3 カメラからレンズ本体を外します。
- 4 ドライブユニット取り付けねじを外します。(3本)

7 ドライブユニット脱着方法



5 レンズ本体の接点にキャップをします。

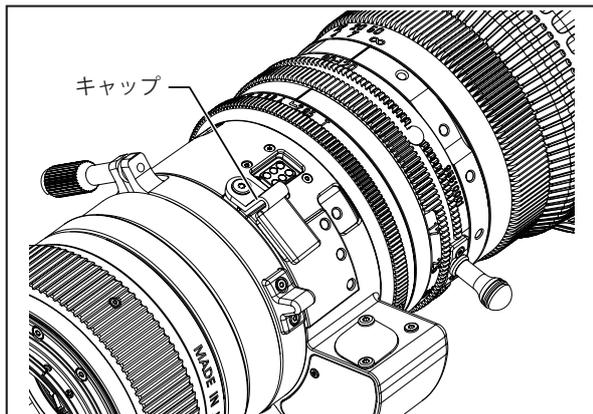


6 外したドライブユニットは付属の保管袋に収納します。

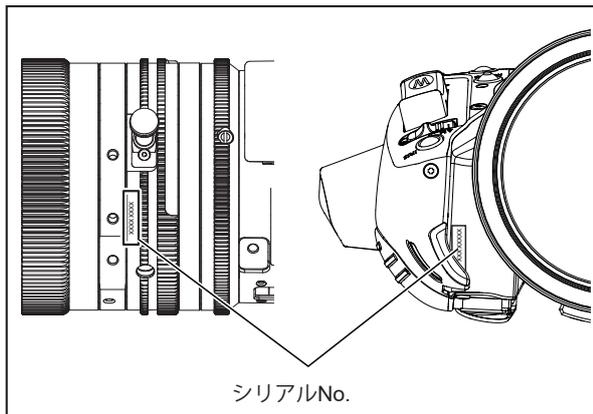
7-2. ドライブユニット取り付け方法

『ご注意ください』

ドライブユニット取り付けねじが破損したり紛失した場合は、付属の取り付けねじをご使用ください。
ドライブユニット取り付けねじが不足した場合は、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。



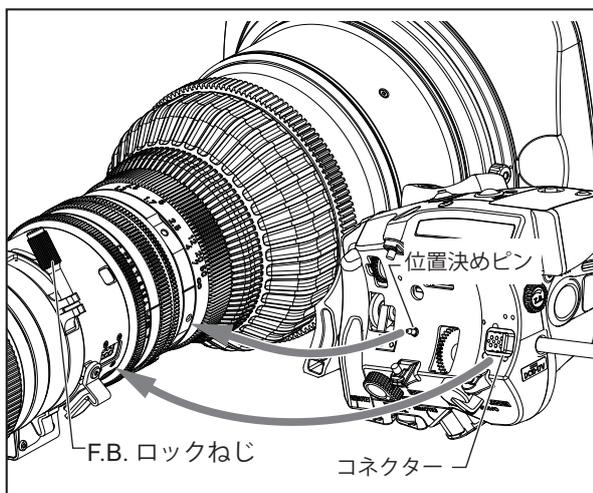
- 1 レンズ本体の接点のキャップを外し、本体の突起部にキャップを固定します。



- 2 レンズ本体とドライブユニットのシリアル No. が一致していることを確認します。

『ご注意ください』

シリアル No. が一致しない組み合わせでは動作不良となる場合があります。



- 3 レンズ本体のドライブユニット取り付け用ねじ穴（3か所）に異物が無いことを確認します。

『ご注意ください』

ねじ穴に異物がある状態でドライブユニットを固定すると、故障の原因となることがあります。

- 4 F.B. ロックねじがドライブユニットに接触しない位置にあることを確認します。

『ご注意ください』

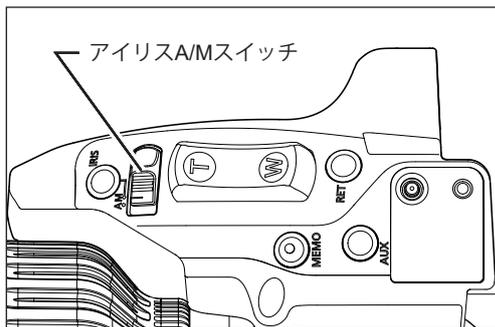
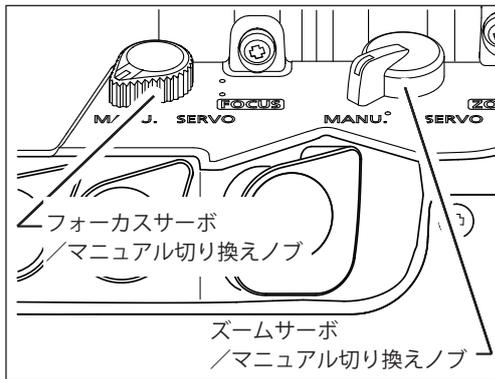
F.B. ロックねじがドライブユニットに接触すると表面に傷がつく可能性があります。

- 5 ドライブユニットの位置決めピンをガイドにコネクター部をはめ込み、ドライブユニットをレンズ本体に押しつけながら、ドライブユニット取り付けねじ3本で軽く締め付け仮止めします。

『ご注意ください』

ドライブユニット取り付けねじ以外のねじは絶対に使用しないでください。

7 ドライブユニット脱着方法



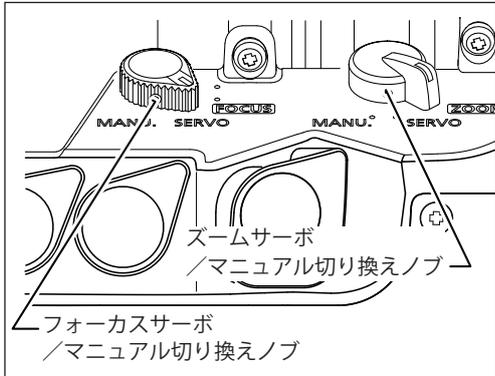
- 6 ズームサーボ/マニュアル切り換えノブおよびフォーカスサーボ/マニュアル切り換えノブを MANU. 側に切り換えます。
- 7 アイリス A/M スイッチをマニュアル設定側に切り換えます。
- 8 フォーカス、ズーム、アイリスの各リングを手で回して、ギアのかみ合いを確認します。
- 9 ドライブユニット取り付けねじ 3 本を指定のトルクで締め付け固定します。
※締め付けトルク：63 – 80N・cm (6.4 – 8.2kg・cm)
- 10 レンズをカメラに取り付け、電源 / アイリスコントロールケーブルを接続してからカメラの電源を入れます。
- 11 ディスプレイ上でメカ端の自動調整を行います。
※メカ端の自動調整方法は、次ページの『7-3. メカ端の自動調整』をご覧ください。

『ご注意ください』

電源を入れたときに、ディスプレイ上にエラーメッセージが表示された場合は、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。

7-3. メカ端の自動調整

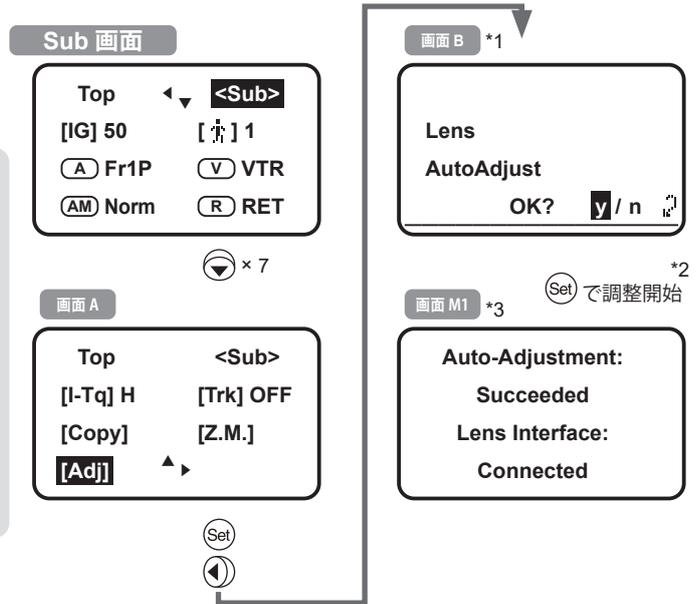
レンズ本体とドライブユニットのズーム、フォーカス、アイリスのメカ端を自動調整します。
取り外したドライブユニットを再度レンズ本体に取り付ける場合は、必ずこの調整を行なってください。



『ご注意ください』

- *1: 「画面 B」で、自動調整を実行しない場合は、n を選択して Set キーを押してください。「画面 A」に戻ります。
- *2: メカ端の自動調整中はディスプレイが点滅します。ディスプレイ点滅中は、フォーカスドライブギアやズームドライブギアなどの操作環に手を触れないようにしてください。
- *3: 「画面 M1」以外のメッセージが表示された場合は、下表「メッセージ一覧」をご覧ください。

- 1 ズームサーボ/マニュアル切り換えノブおよびフォーカスサーボ/マニュアル切り換えノブを SERVO 側にします。
- 2 下記の手順に従いディスプレイを操作して、メカ端の自動調整を行います。



メッセージ一覧		
画面 M1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Auto-Adjustment: Succeeded Lens Interface: Connected </div>	メカ端自動調整が正常に完了した場合に 표시됩니다。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Please Check Servo / Manu OK? </div>	ズームサーボ/マニュアル切り換えノブとフォーカスサーボ/マニュアル切り換えノブの両方または一方が MANU. 側にあるときに表示されます。両方のノブを SERVO 側にして Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Auto-Adjustment: Succeeded Lens Interface: Non-Connected </div>	メカ端自動調整完了時、ドライブユニットとレンズ間の通信が確立していないときに表示されます。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Auto-Adjustment: Error Lens Interface: Non-Connected </div>	メカ端自動調整が異常終了したときに表示されます。「画面 M4」が表示された場合は、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Auto-Adjustment: Error Lens Interface: Connected </div>	メカ端自動調整が異常終了時、ドライブユニットとレンズ間の通信が確立しているときに表示されます。「画面 M5」が表示された場合は、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。

8 製品仕様

		CN7x17 KAS T/R1 (RF マウント) CN7x17 KAS T/P1 (PL マウント)	
焦点距離	17 - 120 mm		
ズーム比	7 倍		
最大口径比 (T ナンバー)	1:2.95 (at 17 - 91 mm) 1:3.9 (at 120 mm)		
絞り羽根枚数	11		
イメージサークル	φ 31.4 mm		
アスペクト比	1.78 : 1	1.9 : 1	
撮像範囲 (水平 × 垂直)	24.6 × 13.8 mm	26.2 × 13.8 mm	
画角 (水平 × 垂直)	広角端	71.8° × 44.2°	75.2° × 44.2°
	望遠端	11.7° × 6.6°	12.5° × 6.6°
最短撮影距離 (M.O.D) [イメージセンサーから]	0.85 m (2.8')		
M.O.D. 時の 被写体範囲 (水平 × 垂直)	広角端	86.6 × 48.6 cm	92.2 × 48.6 cm
	望遠端	12.0 × 6.7 cm	12.8 × 6.7 cm
フロント径	φ 114 mm		
フィルター径	φ 112 mm ピッチ 1 (レンズ本体) φ 127 mm ピッチ 0.75 (フード内)		
全域ズーム作動時間	最高速度 約 0.5 秒 (常温)		
全域フォーカス作動時間	約 1.4 秒 (常温)		
入力電圧	DC12 V (DC10 - 17 V)		
消費電流	最大 1.5 A		
使用環境条件	温度: -20°C - +45°C 相対湿度: 5% RH より 95% RH の範囲 (結露を生じないこと)		
外形サイズ (W × H × L)	約 174.1 × 125 × 286.9 mm (RF マウント) 約 174.1 × 125 × 254.9 mm (PL マウント)		
質量	約 3.11 kg (RF マウント) 約 3.04 kg (PL マウント)		

『ご注意ください』

本製品はφ 15、φ 19の各種シネマ用アクセサリに対応しています。

対象アクセサリについては、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。

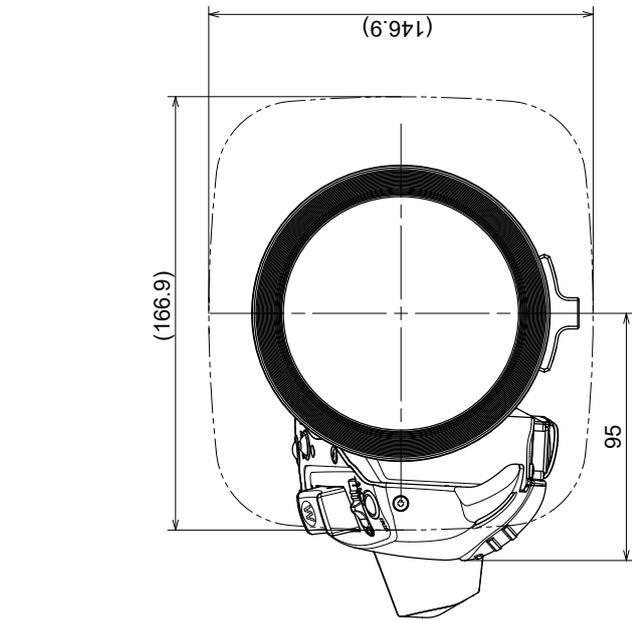
参考情報

本製品は動画撮影用ズームレンズです。

- RF シネマレンズは映画制作を主眼に開発され、映画用に一般的なカラーバランスを持っています。静止画撮影を基本とする EF / RF レンズと本レンズを併用する際は、必要に応じカラーバランスの調整（ホワイトバランスの取り直しなど）を実施してください。
- 絞り開放付近および近距離の被写体では、一般に被写界深度が浅く、ピントの合う範囲が極めてせまくなります。また、焦点距離が長いレンズほどこの傾向は顕著になります。撮影にあたっては、ファインダーの拡大モード等で合焦状態を慎重に確認し、十分なテスト撮影を行った上でフォーカス操作を行ってください。

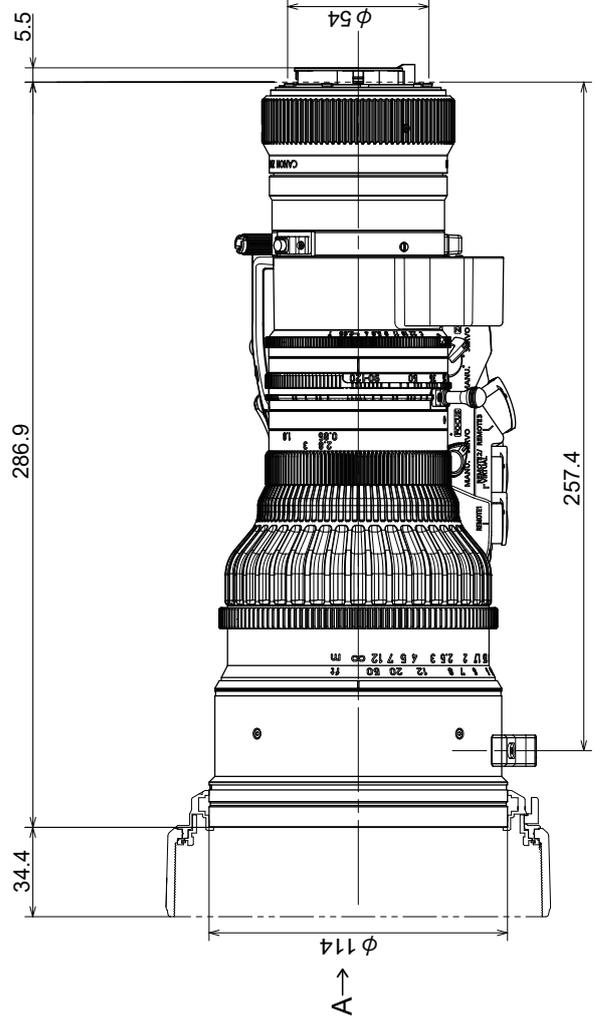
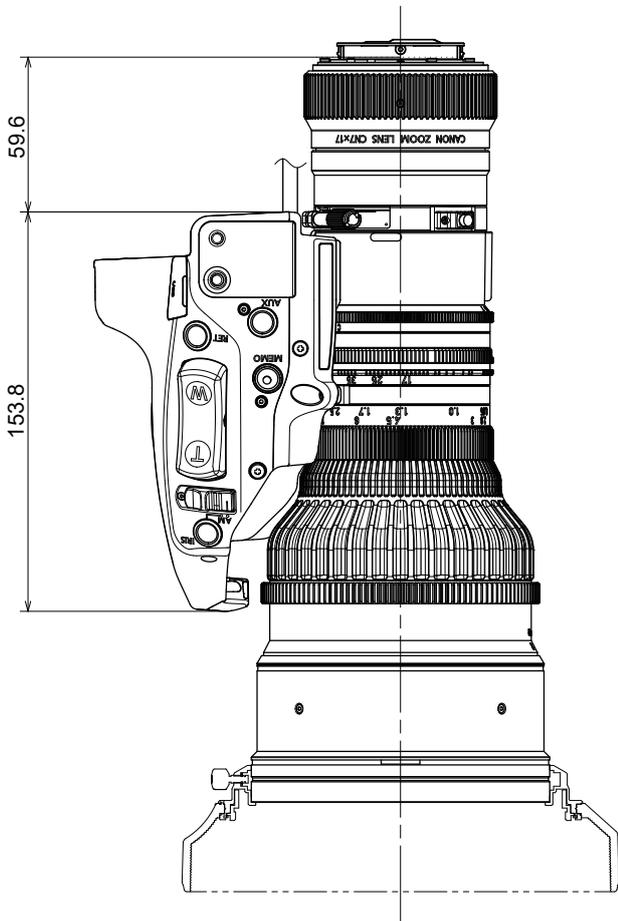
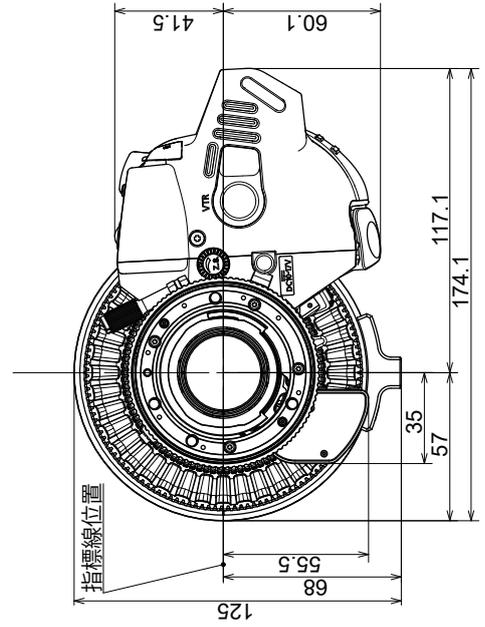
外觀図

(1) CN7x17 KAS T/R1



View A

(Unit : mm)



Canon

キヤノン株式会社

〒146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2